



ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

(モバイルサイト <http://mw.hiroringi.or.jp/>)



C O N T E N T S

ページ 項目

レポート << Report >>

- 2 検査説明・相談ができる臨床検査技士
 育成講習会(福山)
 <<開催・参加レポート>>

ご案内 << Information >>

- 4 第33回 広島県医学検査学会案内
 4 平成28年新春祝賀会のご案内

研修会・講習会 << Study >>

- 5 血液研修会
 輸血研修会、
 一般検査研修会 ほか



平成27年度広島県臨床検査データ標準化事業から 研修会開催のお知らせ

『共用基準範囲の現状を知ろう!』

- 日時：2015年12月19日(土) 14:00~17:00
- 場所：広島赤十字・原爆病院 東棟9階 講堂
- 内容(予定)

1、各メーカーから(3社)

- 1) 関東化学：基礎的編(トレーサビリティ、不確かさ等)
- 2) シスメックス：SI単位への変更、少数分析装置を用いた場合の共用基準範囲の考え方
- 3) ベックマン・コールター：共用基準範囲設定のための国際研究プロジェクトについて

- 2、JCCLS 共用基準範囲の登録衛生検査所の取り組み 福山臨床検査センター 奥原俊彦 技師
- 3、JCCLS 共用基準範囲を採用された施設から 岡山大学病院 岡田 健 先生
- 4、質疑応答

■問合せ先：広島赤十字・原爆病院 米田登志男 TEL (082) 241-3111

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会（福山）

広島市立安佐市民病院 中島 静



昨年度に引き続き、『平成27年度日臨技・広臨技主催検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会』を10月24・25日に福山市民病院にて開催しました。講習会には昨年同様定員を超える申し込みがあり、会員の方の関心の高さがうかがわれます。

最近では全国学会や地方学会等で検査説明・相談

に関するシンポジウムや関連講演が行われ、さらに一般演題の発表も増加してきました。

今回の講習会は昨年度広島で開催した内容と同じように、座学講義、グループワークやロールプレイが含まれる講義（検査説明の実際、患者心理、R-CPC、接遇）を行いました。グループワークやロールプレイでは受講者の方々が巧みな説明や相談の受け答えをされる場面があり、大変盛り上がりました。

検査説明する際の心構え、接遇や問題点、さらに今後の課題を受講者同士で話し合い共有することができたのではないかと思います。

この講習会は3年間限定の日臨技・広臨技共同事業となっており、いよいよ来年度が最終年となります。次回、平成28年度は広島地区での開催を予定しています。日程や内容等決まり次第、速報等にて会員の皆様にお知らせいたします。

本講習会におきましては会員並びに関係各位にご理解ご協力いただき心よりお礼申し上げます。

検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会レポート

去る10月24・25日に、福山市民病院ホールコアにて検査説明・相談の出来る臨床検査技師育成講習会に参加して来ました。福山市民病院は病床数506床の総合病院で災害拠点病院です。ホールコアは、災害時に市民の避難場所としての機能を持たせ、コンセントを多数張り巡らせた造りになっているそうです。それでは、講義内容を下記に紹介いたします。

最初に、“**検査説明・相談の出来る技師育成に取り組む意義について**” 日本臨床衛生検査技師会会長宮島先生のビデオ放映をみました。全国で3年間に5000人程度の受講を計画しているようです。新たな時代に突入してきており、薬剤師のように病棟配置が進んで来れば、必ず検査説明・相談は必要となってくる。技術者から医療人になり、チーム医療



を実践するべきである。とその意義を熱く語ってくれました。

次に“**臨床検査技師の検査説明・相談に期待するもの**”を福山市民病院 病院管理者の高倉先生から自院の現状の紹介を基に講義されました。福山市民病院の臨床検査技師は37名で、採血業務は検査技師2名～4名と看護師で行っていること。管理者として採血は採血専門で雇うことが出来ればいい、検査技師でも看護師の仕事でもないように感じている。検査技師は現状で手一杯であり、余裕があるようには思えない。人手があれば採血業務を検査科ですべてできると思うが、何百人も雇うことが出来ないし、看護も楽をしようと考えている人もいるので見極めが必要である。また、検査方法・意義・目的は説明することが出来ても、病態を把握していないと個々の患者に対応するのは難しいし、病院・医師とのコンセンサスがないとできない。まずは検査技師としての王道を歩んでほしい。検査説明・相談業務には持続的な研修が必要で、ハードルは高いと思う。と本音でおっしゃられました。

次に“**医療従事者の患者接遇**”を福山市民病院 看護師長の内田先生から講義を受けました。接遇をするには良い人間関係をつくること。そのためには5つの基本を念頭におくこと。“あいさつ”は自ら積極的に、6秒で印象が決まる。“表情”、笑顔は好意の

メッセージ。 “身だしなみ” は病院の品性。 “態度” は話し方・接し方、話をよく聞き理解しようと努めること。 “言葉遣い” は正しく・正確・丁寧に、馴れ馴れしい言葉づかいをしない。 また、ユニフォームを着たら患者・その家族から見られている事を理解する必要があると語られました。

次に “実践から学ぶ 検査説明研修会事例紹介” を長野県の飯田市立病院 臨床検査科長實原先生のビデオ放映を見ました。平成23年度地域医療再生計画事業への取り組みとして、検査説明・相談の出来る技師育成事業が厚生労働省に承認され、3カ年計画でその事業を行った経緯・方法・カリキュラムを説明されました。

次に “患者心理〈初級レベル〉～今日から使える関わり方のコツ～” を安佐市民病院の臨床心理士の岡野先生より、ワークを取り入れながら、人間関係を深めるときに使える類似性の法則や自己開示の法則、人から報酬を受けるとお返ししたくなる返報性（互惠性）の法則、カウンスルスキルとして環境を整えること、傾聴のコツ、質問のコツ、承認のコツを学びました。



1日目の最後には、“『患者満足度を高める接遇マナー』～基礎から応用（ロールプレイ）まで” を第一三共株式会社の接遇インストラクター免許皆伝者の服部先生より、接遇とは心からのおもてなしであり、接遇技術はスキをつくらず、無用なトラブルを回避出来る重要な役割があると。そして接遇の5原則を具体的に学びました。また、ロールプレイとして事例3つの寸劇をビデオで見て、技師と患者役の関係をグループワークで話し合い、問題点を改善し、実際に寸劇を行い、その評価を受け、各グループの改善ポイントを共有しました。基となる寸劇ビデオの演者は広臨技の役員さんで、とても上手にダメな検査技師役を演じていました。それにも負けず劣らぬ演技力を発揮して、各グループの改善後の寸劇が行われました。方言あり、アドリブありと楽しい内容となりました。

2日目のはじめは “呉共済病院検査部の新たな試みと事例紹介～検査相談室・輸血後感染症検査説明

～” を呉共済病院の臨床検査技師荒谷先生から相談室設立までの経緯から実績・具体事例まで詳しく説明がありました。一人だけで対応が難しければ、得意分野の方に助けを求めるなど、検査科みんなで取り組んでおられることが良くわかりました。また、コミュニケーションスキルが非常に大事で、単に説明するだけでなく、患者さんに向き合い、如何に傾聴するかがうまくいく秘訣であるように感じられました。

次に “検査説明の実際〈初級レベル〉” を広島大学血液内科の大島先生から技師会が準備したスライドを基に説明し、自身の考えを述べられました。スライドの内容で福井県立病院検査室のように、写真や画像を見ながら患者家族が骨髄検査の説明をうけることができたなら本当にいいなあと思っていますと、しかし、なかなかそう簡単にはいかない。自分自身、検査技師からたくさんの事を学び、検査技師は相談室がなくても各部門で説明を今でもしていると思うし、十分貢献できていると思うと。検査技師は医師とは違う入り口から患者をみており、それぞれが補完することで患者の利益に繋がるのだと。その後、グループワークを5症例について、どのような検査説明対応をするか話し合い、患者役の先生と模擬説明を行いました。かなり突っ込んだ問いに戸惑いながら、説明のポイントや説明が難しいところは無理をせず、医師に振ることも必要であることを学びました。

最後に “R-CPC〈初級レベル〉” を広島大学 検査部部長・准教授の横崎先生から「R-CPCとはどういうもの」「ルーツはどこで・・・」等を学び、実際のルーチン検査結果から信州大学方式（13分類）の結果解釈をグループワークで行いました。なかなかルーチン検査結果のみで病態を把握することは難しく、患者情報や経過データが病態の把握にはとても重要な要素であること、この R-CPC は思考過程を学ぶ一つの学習方法であることを学びました。

グループワークでいろんな施設の方と話し、刺激を受けた2日間でした。しかしながら、この講習を受けたら宮島日臨技会長のお考えの検査説明・相談がすぐできるようになるかということ、それはなかなか厳しいと言わざるを得ません。やはり、かなりの経験と幅広い知識、コミュニケーションスキルがないと難しいと思います。しかし、「必要なスキルが何であるか？」はわかった気がします。相談室を作るハードルは高いですが、普段通りの仕事の中に相談できる環境を少しずつ増やしていければ、まずは成功と考えます。

最後に、この講習会の企画運営をさせていただきました水野会長をはじめ、役員・スタッフの皆様、また、福山市民病院の皆様お疲れ様でした。大変有意義な講習会でした。感謝いたします。

(広報部 黒田和彦)

第33回 広島県医学検査学会（第5報）



【開催日】平成28年2月20日（土）～21日（日）

【会場】尾道国際ホテル（広島県尾道市新浜 1-13-6）

【メインテーマ】「原点回帰～大切な何かを探そう～」

■学会内容

【シンポジウム】

テーマ：

「小規模施設の果敢なる挑戦～何かみえてきた～」

<座長> 岡野慎一郎 技師（因島総合病院）

<発表タイトル及びシンポジスト> （発表順は未定）

- ・「小規模病院検査科における業務拡大とチーム医療への貢献」

医療法人社団光仁会 梶川病院 木村朱美 技師（広島地区）

- ・「予防医学におけるチーム医療 ～巡回健診の経験から～」

東広島記念病院・広島生活習慣病がん健診センター東広島 河村佳美 技師（東広島地区）

- ・「2つの無床診療所での常勤検査技師の日常」

福山医療生活協同組合 城北診療所 岩岡育代 技師（福山地区）

- ・「患者様との関わり ～検査室を飛び出そう～」

医療法人啓卯会 村上記念病院 清水克則 技師（尾道地区）

- ・「当院における多職種の間わりについて～チーム医療の推進～」

医療法人杏仁会 松尾内科病院 新川俊也 技師（三原地区）

【公開講座】

講座①「One for All All for Oneの精神を求めて」

講師：尾道高等学校ラグビーフットボール部 監督 梅本 衛 先生

講座②「百島診療所 瀬戸内離島医療の挑戦」

講師：百島診療所（尾道市百島町）院長 次田 展之 先生

【一般演題】15題（領域別内訳は下記のとおり）

- ・臨床化学、免疫血清検査4題 ・血液検査2題 ・機能、画像検査3題 ・管理、運営2題
- ・微生物検査1題 ・病理、細胞診検査3題

【ランチョンセミナー】

「AKI診療における貢献を目指して～急性腎障害における新規バイオマーカー尿中NGALの意義～」

講師：アボットジャパン株式会社 マーケティング本部プロダクトマネージャー 植田 充 先生

平成28年 新春祝賀会の開催について（ご案内）

当会では会員および賛助会員の皆様と役員一同が、情報交換をするとともに親しく交流できる場をと考え、恒例の新春祝賀会を予定しております。

つきましては、下記のとおり開催いたしますので、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

■日時 平成28年1月16日（土） 18時30分～20時30分

■場所 ANAクラウンプラザホテル広島3F オーキッド（広島市中区中町7-20 TEL:082-241-1111）

■会費 10,000円（当日受付にて支払）

■申込方法 下記申込書にご記入の上 **12月18日（金）**までに FAXにてお申し込みください。

■申込先 一般社団法人広島県臨床検査技師会 事務所 FAX 082-502-6031

*申込書を受取り次第、当方より受付確認を FAXにて返信し受付完了とさせていただきます。

FAX送信後1週間以内に受付確認の FAXが届かない場合は、
恐れ入りますが、電話にて広臨技事務所まで
お問い合わせください。（TEL 082-502-6011）



平成28年新春祝賀会出席申込書

*施設会員の方は施設ごとにとりまとめて

お申し込みください

施設名 _____

連絡先 電話番号 () _____

FAX番号 () _____ FAX番号を必ず記入してください

会員番号	お名前	役職（役職の記入にご協力お願いします）

担当：事務局 田中美樹 広島市民病院 臨床検査部 082-221-2291（6325）

研修会のご案内

血液研修会

～新経口凝固薬 NOAC と DIC について～

■日時：平成27年12月5日（土）15時から18時

■場所：広島市立広島市民病院 10階講堂

■内容：

講義1 「未定」 株式会社 LSI メディエンス 未定

講義2 「新規経口抗凝固薬（NOAC）について（仮）」

アイエルジャパン株式会社 阪田敏幸 先生

講義3 「DICについて（仮）」

東京都済生会中央病院 窓岩清治 先生

■共催：株式会社 LSI メディエンス

<注意>駐車券は用意できません。

■問合せ先：広島市立安佐市民病院

臨床検査部 中島静 TEL（082）815-5211

講演1 「尿中赤血球の見方・考え方」

講師 山口大学医学部附属病院 検査部

富永美香 技師

講演2 「腎臓が悪くなるとどうなる？」

講師 倉敷リバーサイド病院 臨床検査室

中川裕美 技師

■問い合わせ： JA 尾道総合病院 安保裕子

平成27年度 第3回一般検査研修会

認定一般検査技師資格更新指定研修会

■日時：平成27年12月19日（土）12：30～18：00

（12：00 受付開始）

※事前申し込みは必要ありません。認定一般検査技師資格をお持ちの方は、当日受付時にお名前と認定番号を申し出て下さい。研修会終了時に指定研修会参加証明書を発行いたします。

■場所：広島大学医学部 第5講義室

■内容：

講演1 12：30～15：00

鏡検力アップ！一般検査スライドカンファレンス

東部地区一般検査研修会

■日時：平成27年12月12日（土） 15時から

■場所：福山市民病院 2階 講義室

尿沈渣編 髄液・体腔液編 寄生虫編

広臨技一般検査領域委員

講演2 15:10~15:40

アルブミンの測定意義とクレアチニン補正
シーメンスヘルスケア・

ダイアグノスティクス株式会社

POC 事業部 渡辺浩 先生

講演3 15:50~16:50

基礎から学ぼう。身の回りの寄生虫感染症
昭和メディカルサイエンス 福富裕之 先生

講演4 17:00~18:00

髄液一般検査の今後の展開

～リニューアルした髄液検査技術教本

その改訂のポイントを中心に～

国際医療福祉大学 福岡保健医療学部

大田喜孝 先生

■共催：シーメンスヘルスケア・

ダイアグノスティクス株式会社

■問い合わせ先：KKR 呉共済病院 佐々木 彩

TEL：0823-22-2111（内線 4303）

Email a-sasaki@kure-kyosai.jp

輸血研修会

■日時：平成28年1月9日（土） 14:00~17:00

■場所：県立広島病院新病棟（緩和ケア病棟）2階
総合研修室

■内容：こんな時、どうする？【症例編】
4演題程度を予定

■問い合わせ先：広島市衛生研究所 吉森雅弘

TEL 082-277-6999

E-mail yoshimori-m@city.hiroshima.lg.jp



求人のご案内（平成27年11月11日現在）

受付No	受付日	施設名	雇用形態	雇用期間	募集業務内容	その他・勤務時間など
287	11月4日	広島厚生病院	正社員 パート	随時	臨床検査業務	勤務時間 9:00~18:00 パート応相談
286	10月20日	広島県環境保健協会	正職員	H28年4月	臨床検査	勤務時間 8:30~17:30
285	10月20日	吉島病院	臨時職員	随時	臨床検査全般	勤務時間 8:30~17:15
284	9月28日	放射線影響研究所	パート	随時	検査業務	勤務時間 8:30~17:00
283	8月10日	広島HARTクリニック	パート	随時	検査業務 看護師業務補助（採血）	院内雑務 勤務時間 8:30~12:00
282	8月10日	県立広島病院	パート	H27年8月~	臨床検査業務	勤務時間 8:30~15:30
281	8月1日	廿日市記念病院	パート	H27年8月~	臨床検査業務全般	勤務時間 8:30~17:30
280	8月1日	五日市記念病院	パート	H27年8月~	臨床検査業務全般 心エコー経験者歓迎	勤務時間 8:30~17:30
279	7月13日	吉田総合病院	臨時職員	随時	病理検査	病理業務経験者・ 細胞検査士歓迎 勤務時間 8:30~17:00
278	6月26日	三原城町病院	正社員	随時	臨床検査業務全般 採血検査及びエコーの経験	勤務時間 8:30~17:00
277	6月1日	太田川病院	正社員	随時	臨床検査業務	8:30~18:00（シフト制）
276	6月1日	松岡病院	正社員	随時	臨床検査業務	(1)8:15~17:15 (2)9:15~18:15



広報部連絡・専用 E-Mail <koho@hiroringi.or.jp >

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。モバイル端末からのメール送信も可能です。

（次号速報の原稿〆切りは、12月9日です）

